

## 指 摘 要 望 事 項

令和2年第1回定例会 予算審査特別委員長報告（抜粋）

- 1 災害時の情報伝達手段については、今年の台風・大雨災害を教訓に、確実に市民に情報が伝わるよう、引き続き防災行政無線の充実を図るとともに、その他の手段についても他自治体の事例や最新技術、また、アナログ的な手法も含め、さらなる検討に取り組まれない。
- 2 幕張新都心については、当局において、幕張新都心将来ビジョンを策定予定であり、海浜病院の移転も計画されているものの、いまだ多くの土地を保有する県との連携が不十分である場面も見受けられることから、本市施策へのより一層の協力を県に強く働きかけ、本市主導のもと、国家戦略特区の活用とあわせ、さらなる活性化を図られたい。
- 3 文化芸術振興については、本市初の大規模な芸術祭として「千の葉の芸術祭」が開催されるものの、市民の認知度が高いとは言えないことから、積極的な周知に努めるとともに、本芸術祭を一過性のものとせず、開催終了後も市民が文化芸術を身近に感じられるよう、効果的な施策展開を図られたい。  
また、スポーツ振興については、新設される（仮称）千葉公園体育館が、周辺のスポーツ施設を集約し、防災拠点機能をも有する新たな市民スポーツの拠点として整備されることから、既存施設の利用者のみならず、多くの市民に対する周知に努めるとともに、より多くの市民がスポーツに親しむことができるよう取り組まれない。
- 4 受動喫煙対策については、条例施行に伴い対策を推進する一方で、新たに屋外喫煙所が設置される状況を鑑み、喫煙率の低下に資する施策展開に取り組まれるとともに、喫煙による健康被害の危険性について積極的な周知啓発に努めるなど、全庁一体的な喫煙防止対策に向けて、さらなる施策の充実に取り組まれない。
- 5 児童相談所については、年々増加する児童虐待事案を初め、複雑多様化する課題に対して迅速かつ的確な対応が肝要であることから、引き続き、児童相談所職員の増員とともに、研修を通じて人材育成を行うなど、人員体制の充実強化に取り組むほか、今後のあり方については、児童相談所の複数体制を含めた本市における機能強化策についても、可及的速やかに検討を進められたい。

6 森林等の安全対策については、昨今の台風や大雨等による被害状況を鑑み、森林の整備を推進しているものの、森林面積に対して十分な対策が講じられているとは言い難いことから、国や県への要望も含め、あらゆる手段を検討し、一層の整備推進に尽力するとともに、市民の安全・安心の観点から、関係部局と連携した取り組みを講じられたい。

7 地域公共交通網形成計画の策定に当たっては、コンパクトプラスネットワークの観点から各拠点の結節を強化することはもとより、交通不便地域等の実態と市民ニーズの把握を的確に捉えることに加え、交通事業者等と連携のもと、さまざまな移動手段の導入を検討するなど、本市にとって最適な交通体系の構築に取り組むとともに、早急に事業展開を図られたい。

8 災害対策としてのインフラ整備に当たっては、近年、未曾有の災害が頻発していることに鑑みると、排水施設整備などを初めとした雨水対策の推進はもとより、急傾斜地崩壊対策についても、予防策に取り組むほか、国及び県に対しても積極的に要望を行うなど適切な対策を講じられたい。

また、倒木対策については、災害発生時に迅速に復旧対応が可能となるよう、関係部局はもとより、民間事業者とのさらなる連携強化に努め、施策展開に取り組まれたい。

9 千葉市立病院再整備基本構想の策定に当たっては、市立病院としての使命と意義を十分に踏まえ、市民意見の聴取に、様々な手法を用いるなど、市民の意見が反映されるよう最大限努力されたい。

また、新病院の基本計画及び基本設計を行うに当たっては、市民が必要とする医療を提供できるよう、診療科の充実を検討するとともに、計画的に医師や看護職員などの専門的な人材の確保・育成にも努められたい。

10 教育環境改善に係る各種専門職員については、専科教員やスクールソーシャルワーカー等の専門性の高い知識や技術を有する人材を活用することにより、教職員の負担軽減につながることはもとより、児童生徒に対する教育環境の質の向上が期待できることから、一層効果的な配置が可能となるよう、引き続き、各種専門職員の増員や育成に努められたい。